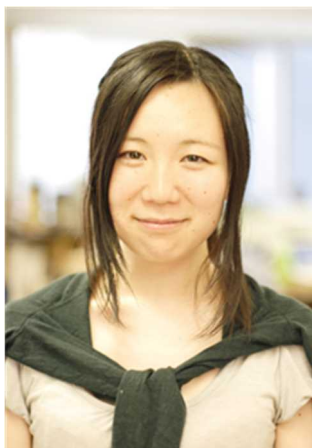


2015 年度後期

国際平和ミュージアム NGO ワークショップ

難民問題の解決に向けて ～JVC の活動を基に考えよう～

最近毎日のように報道されている難民問題について考えたことはありますか？
難民問題の現状とそのための取り組みについて知ること、問題改善のために私たちが
できることを考える機会にしましょう。



なみきまい
〈講師〉 並木麻衣さん

JVC (特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター)

1984 年、東京生まれ。9.11 から情勢が悪化していく中東のニュースを見て「紛争下に生きる人々の素顔を知りたい」と感じ、東外大でアラビア語・平和構築を専攻。在学中にパレスチナ・イスラエルの大学へ一年留学し、現地でアラビア語、ヘブライ語、パレスチナ問題について学ぶ。同時期に旅したシリア、ヨルダン、エジプトも含め、中東の人々の気持ちに触れて「日本からできることは何だろう」と悩みを深めて帰国。会社員や大学職員を経て、2013 年 7 月より JVC パレスチナ事業担当に就任し、東京を拠点に主にパレスチナ問題を伝えるイベント・講演や、事業の資金調達を担当している。

日時：2015年12月5日(土) 10:30～12:00

場所：立命館大学国際平和ミュージアム 2階会議室

定員：先着30名(大学生・大学院生)

申込み：立命館大学国際平和ミュージアムまでご連絡ください

TEL：075-465-8151

電話受付時間：9:30～17:00(月曜休館日を除く)

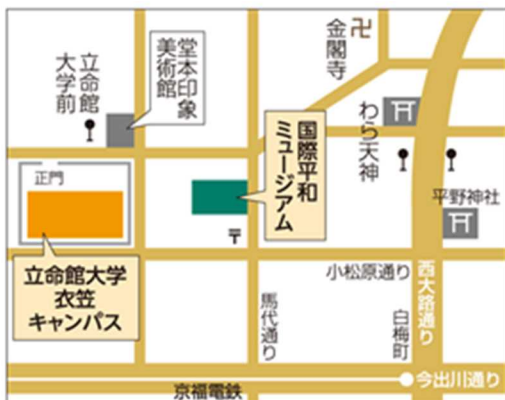
*参加費無料！当日参加可！！

当日のスケジュール予定

- ① 難民について知る(30分)
- ② NGOによる支援とジレンマを知る(30分)
- ③ 一人一人が発言するワークショップ(30分)



給食の支援をもらう子供たち
(JVCのHPより)



ワークショップの内容についての質問はメールで受け付けます！

問合せ：丸橋裕也 (ja0478es@ed.ritsumei.ac.jp)

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

企画：立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ

丸橋裕也・桑野真実・能勢葵・下村はず希

〈JVC とは〉



JVC(日本国際ボランティアセンター)1980年にインドシナ難民の援助を機に発足。現在、アジア、アフリカ、中東、そして、日本の地震被災地で活動している国際協力NGO。紛争地で医療をはじめとした人道支援や、環境保全型の農業を通じた暮らしの改善に協力する。またシンポジウムや、書籍、提言を通し、現場の声を政府や社会に届ける政策提言活動にも力を入れる。

難民キャンプの生活から故郷へ
(JVCのHPより)



企画スタッフのコメント



ここ最近、テレビや新聞などで難民に関する報道が多くされています。

しかし私たちは「難民」という言葉や、その意味については知っていても、具体的な問題に関しては、あまり考えたことがないのではないのでしょうか？

今回のワークショップでは、世界で難民問題に積極的に取り組まれている JVC という団体から講師を招き、みんなに難民問題についてより深く理解してもらうための機会を提供したいと思います。ぜひご参加ください！そして平和な世界をつくるための一歩を踏み出しましょう！（法学部2回生 丸橋裕也）

みなさんは難民問題についてどのくらい知っていますか？また考えてみたことはありますか？そこで今回は NGO の講師の方からお話を聞き、みんなで一緒に話し合うことで難民問題への理解を深めましょう！またそれと同時に、国際的に難民支援をされている講師の方から「女性の活躍」についても学ぶ機会にしましょう！（法学部1回生 下村はず希）



みなさんは普段、日本にいて難民問題を身近に感じることはあるのでしょうか？意識しない限りそれは少ないのではないのでしょうか？しかしだからといって新聞やテレビの中だけの話にしてしまい考えることをやめてはいけません。どうしたら遠く離れた国にいても難民となっている人たちを救えるのか。一緒に考えていきましょう！（文学部1回生 能勢葵）

今回は難民問題をテーマにワークショップを企画しました。日本でも難民を受け入れてはいますが、先進国の中ではまだまだ少ないです。難民とは何か？どのような対策がされているのか？まず知ることが大切だと思います。私たちと一緒にぜひ考えてみましょう！（法学部2回生 桑野真実）

